



幸樹

こう じゅ

第50号

2019年5月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



「鶴とモンシロチョウ」 絵・井上 忠司 愛知県生れ。文化学院デザイン科卒業後、グラフィックデザインの世界へ。食品関係・洗剤関係の仕事を経てパッケージのアートディレクター（AD）になる。リタイア後に趣味で始めたバードウォッチングの魅力に夢中になり、10年間鳥の絵を描いてきました。さんしょうのご利用者です。

幸樹会5周年・2019年度全職員会議を開きました

人を尊重したケアをさらに！

利用者・家族の皆さまをはじめ多くの方々のご指導ご支援をいただき、幸樹会は2月に創設5周年を迎えることができました。6つの事業所は3～4年目に入っています。4月4日、2019年度幸樹会職員全体会議を開き、法人事業方針・予算、各事業所方針を報告し確認しました（写真）。昨年度は組織運営の整備を進め、仕事とケアを改善させることができました。

経営的にも創設期の困難を乗り越え前進してきました。

2019年度は、さらに仕事・ケアの充実に努め、利用者・家族・地域の皆さんのニーズに応える「人を尊重したケア」を進めてまいります。引き続き皆さまのご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



第20回地域交流カフェ

うたごえ喫茶を楽しみました♪

歌はいいな♪懐かしいな♪

4月16日の地域交流カフェは、「うたごえ喫茶」。歌唱指導・折原啓子さん、アコーディオン・斎藤みどりさん、フルート・平木陽子さんのリードで、おおいに盛り上がり、楽しみました。飛び入りで鈴木鈴子さんが素敵なコカリナ演奏をしてくださいました。刺身・鯛煮つけ・切干大根・筍ご飯の食事は、大好評でした。参加者のみなさんの感想を紹介します。

〈利用者の皆さんの感想〉

「とっても楽しかったと思います。歌が好きだから。生の演奏なんて、なかなかないもんね」（三浦さん）。
「非常に懐かしかった。友人が、歌声喫茶が好きで、1人で行くのが嫌なもので、良くダシに使われて一緒に行ったもので」（井上さん）。
「懐かしい歌ばかりで、良かったわ。私も、おぼろげながら歌えてよかった」（杉本さん）。
「私は、歌を覚えてなかったわ…」（木幡さん）
「みんなうまくてよかったわ。私は、歌わなかったけれど…」（大岡さん）。
「良かった。みんなでやって良かった。手話もあって、あれも良かったね。楽しかった。全部知っている歌だった。懐かしい感じでした」（柳澤さん）。
「みなさん大きな声で、元気があって、感心しました。なんかいいじゃないですか。私は、疲れて途中で、抜けました」（入江さん）。
「（お部屋で聞いていたのですが）いい声でよかったわ。部屋で

歌っていました。私は、演歌が好きだから、2、3曲やってくれたよね。良かった」（玉山さん）。

〈職員の感想〉

「訪問看護で行っている方の、普段家で見

ることができない表情や、食事中に皆さんとお話している姿などが見えて良かった」（村山さん）。
「コカリナの音が素敵でした。楽しかったけど、少し長くて、疲れた様子があった」（石原さん）。
「意外な人が歌っていて、歌の力はすごいです。頑張って歌っていたので、その後は、疲れていました。でも、それはそれで良かったと思います」（岡本さん）。
「配膳で、バタバタしてしまつてすみませんでした。みんなで歌え、歌はいいなと思いました」（大橋さん）。
（村里 恵）



左から平木陽子さん、斎藤みどりさん、折原啓子さん

次回、第21回地域交流カフェは、
6月18日（火）、12：00から。
「人形劇団さてにな」による『幸福な王子』上演。
「人間劇団さてにな」は寒風台小学校PTAの皆さんによって約30年間続けられている人形劇団です。

山梨県北杜市「だんだん会」を訪問してきました

市民とともに作った 「わがままハウス山吹」



3月31日(日)、私たちと交流がある「一般社団法人だんだん会」(宮崎和加子理事長)が、山梨県北杜市小淵沢に支援付き共生住まい「わがままハウス山吹」をオープンするというので、幸樹会を代表して中野・大塚が記念講演会・祝賀会に参加させていただきました。「わがままハウス山吹」は、病気や障害があっても終末期でも“自由に、わがままに、安心して暮らす家”というコンセプトで開設されました。元々ペンションとして使われていた建物を改修したもので、①わたしの茶の間山吹(住民主体型サロン)②見守りつきハウス山吹(見守りつき住宅)③別荘ホスピス山吹(重度者ケアハウス)という三つの機能を持っており、日帰りでサロンを利用したり、短期・長期でも入居が可能です。個室が10室、洗面台や空調が完備され、短期利用の方は用意されている家具を利用でき、リゾート気分も味わえます。家具や絵画などの調度品も素敵ですが、お気に入り家具の持込みも可能です。日中は寄り添いスタッフが常駐しており、医療・看護・介護は地域の熟練のチームが担当し、医師はご本人が選ぶ医師にお願いするというシステムです。

南アルプス北岳が眺望できる木々に囲まれた美しい自然の中にお洒落な建物があります。ガラス張りのお風呂の向こう側には自生の山吹が咲くそうです。道路を隔てて馬術競技場の芝生が広がっています。

「大好きな北杜で最期まで！」と題した記念講演と座談会では、在宅ホスピス医の川越厚先生(墨田区・パリアン理事長)が「家でお迎えを受けるために必要な知恵」を講演。「本当に家で死ぬの？」と題した座談会では、きよさと診療所所長・福富みずほさん、地域看護センターあんあん所長・樋川牧さん、アルプス

居宅介護支援事業所・清水雪江さん、ふるさと情報館代表・佐藤彰啓さん、利用者代表の方がそれぞれ話されました。北杜市の医療介護のネットワーク(地域包括ケア)が急速に進展し、さらに一步前進したことがわかりました。多くの方々が住み慣れた地域・自宅で最期を迎えることを可能にしていることに感銘を受けました。講演会には百数十の座席に座れないくらい多数の方々が参加していました。市民の関心の高さと参加意識の強さをうかがうこともできました。

幸樹会も「住み慣れた地域、家で最期まで暮らし続ける」ことを支援しています。地域・環境や法人が持っているものも違うけれど、それぞれが頑張っていることを見聞きし、考え、学んで、前に進むことが大切であると感じた一日でした。だんだん会の皆さん、わがままハウス山吹の開設おめでとうございます。がんばってください。幸樹会もがんばるぞ！(中野三代子)

ケアマネ

の

こころ

あんず居宅介護支援事業所・所長 田中 和世

残念なことに松戸市は「電話 de 詐欺」被害の件数・金額が千葉県のワースト3の市になっています。私たちも、利用者の皆さんに「電話は留守番電話にして」「非通知番号は受けない」などと話したり、地域交流カフェで詐欺防止「コント de げき隊」に啓発コントを披露してもらったりしました。でも、電話が鳴ると「はい。〇〇(苗字)」と“しっかり”電話対応をされる方も多く見受けられ、ヒヤヒヤしていました。

8割が「私はだまされない」と思っているようですが

“皆さんへのお願いです！”

先日とうとう、「還付金」と聞き“おかしいな？”と一瞬思ったけれど、訪問して来た人にキャッシュカードを渡してしまったという被害が発生しました。渡して



しまった後に「おかしい」と思い直しすぐに警察へ連絡、しかしすでに現金が引き落とされていました。

これ以上被害を受ける方が出ないように、家族・地域でも見守りや声掛け、詐欺防止支援を行いましょう。また、「自動通話録音機」も被害防止効果が大きいようです。積極的に活用しましょう。

松戸市は、自動通話録音機を詐欺撃退機器として貸し出しをしています。

問合せ先・市民安全課 ☎366-7285、貸出条件あり。



デンマーク便り...⑬

ラスムッセン 京子

6月には、デンマークの国会議員の選挙が控えています。毎日の様にTVで社会問題の討論が花を咲かせています。昨夜は保育園や幼稚園について保母さんの数が園児に対して少なすぎるといふ不満が起きています。保育士配置の最低基準としては3人の保育園児に対して保育士1人、幼稚園が6人の子供に対し保育士1ですが、2019年1月28日のデンマーク統計局による調査では、市町村間に保育士配置基準の大きな違いはありませんが、基準を満たす自治体は61%以上で、実際には教育を受け保育士の資格所持者が最低80%以上就労している自治体は48%にすぎないそうです。最悪な自治体では4人の保育園児に対して1人の保育士、幼稚園児12に対して保育士が1人という現実が明らかになり、問題視されています。

デンマークでも保育士が足りない！

デンマークの保育園そして幼稚園の開園時間は、午前6時から午後6時です。その12時間の中、職員の平均労働時間は1日7.4時間なので、朝早く出勤する人、昼から、または午後から出勤と時間差の就労条件なので、その勤務表作成時に資格を持った保育士さんを上手く80%以上配置するのが難しいという現実があるようです。



夫婦で働くのが当たり前のデンマークですから、幼稚園児12人に対して保育士1人だと、子供を預けている親たちは、仕事をしている間、子供がちゃんとお世話されているか気になります。保育士を増やせと、全国的なデモも計画されています。

この問題は今回の選挙の大きな課題になっていますが、果たして解決できるでしょうか。

第16回さんしょう運営推進会議の報告

看護体制強化加算Ⅰに

4/16、17名の参加。今回は、利用者2名、家族3名に参加していただき、さんしょうを利用しての生活の様子や心身状況が改善したことなどをお話いただきました。

2018年度、事業所自己評価について、推進会議委員の皆さんのご意見を加えて松戸市に提出したことや2019年度さんしょう活動方針概要についてご報告さ

せていただきました。また、4月から法人の人事異動により、大塚かすみ看護師が管理者に（あんず訪問看護管理者兼務）、石原育子ケアマネジャーが主任に、岡本健吾ケアマネジャーがあんず居宅介護支援事業所に異動となったことをご報告しました。

そして、さんしょうは5月から、看護体制強化加Ⅰを算定する事業所となります。この加算は、特別な医療（経管栄養、在宅酸素、ストマ、留置カテーテル等）の利用者の割合が全体の20%以上いることや、訪問看護を利用し緊急時対応をしていること、看取りができること、訪問介護の職員が吸引や経管栄養を実施できる体制がある事などいくつかの条件を満たさないと、算定できない加算です。この加算が算定できるということは、医療必要度が高い重症者、重介護度の方々のケアや看取りが可能な事業所であるということの証でもあります。今後とも医療ニーズの高い方、ターミナル期の方に信頼されるケアを提供していきたいと思っています。（大塚かすみ）

新入職員の紹介

介護福祉士 山西 美紀

初めまして。私は、老人保健施設を4年、訪問介護1年の経験を経て、幸樹会に参りました。まだまだ足りないところが多々ありますので、ご指導よろしくお願ひします。いつも笑顔でケアに従事していきたいと思ひます。



八柱学習会

●前回報告4月19日（金）。助言者 武井幸穂氏
「認知症ケアマッピング（DCM）」って何？

参加者15人。「パーソン・センタード・ケアをやるには職員が少なく大変なんじゃないですか？」という本質的な指摘がありました。施設と介護職員だけの責任にしないで、施設基準を規定している介護保障政策・介護報酬、社会的環境の改善が、ケアの改善には不可欠。それを考慮して、パーソン・センタード、ケアを適用すれば、大きな効果があると思われます。研修を受けたい人、マッパーになりたい人、いるかな？

▼次回学習会予定（「定例日：毎月第3金曜日」）

●5月17日（金）、18：30～

「ユマニチュード」 講師：石黒秀喜さん（NPO地域ケア政策ネットワーク事務局長代理・元厚生労働省介護保険指導室長）
場所：幸樹会館2階会議室《参加自由》

職員募集！非営利・働きがいある職場
看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550

今月の屋上太陽光発電量は、

654KW

幸樹会館電力使用量 5956KW 自給率 10.98%

